

まちを歩

人権の
かおりを求めて

第7回

寝屋川市大和東町 おおとし 大和商店街界隈



京阪電車の寝屋川市駅で下車、西へ足をむけると、大和(おおとし)商店街がある。約80店舗が軒を連ね、人と人とが自然に言葉を交わし、ふれあい、にぎわう…。そこには住民の生活に密着した活気があふれている。

その商店街の活性化のツールとして一役買っているのが「地域通貨」(注)。商店街を歩くと利用を呼びかける張り紙が目につく。

「地域通貨」は、特定非営利活動法人「寝屋川あいの会」が「大和商店街」使用限定の「ありがとう券」として、2002年に発行。今年の9月からは、8つのボランティア団体が連携し、「げんき券」に名を変え、市内の全21商店街、約750店舗で使用できるまで拡大している。

「寝屋川あいの会」は、大和商店街の中に事務所がある。地域通貨「ありがとう券(げんき券)」を仲立ちとて、「出あい ふれあい 助けあいここ寝屋川の街に 思いやりの精神(こころ)が溢れて」を合い言葉に、▽高齢者支援▽子育て支援▽まちづくり支援-の分野で活動している。

具体的には、幼稚園の門番支援、高齢者向けのパソコン教室、生け花教室、ポシットづくり、一人暮らしのお年寄りへの配食サービスの配達・見守り支援、街かどディハウスといった実践を展開するなど、“人にやさしいまちづくり”の中心的な役割を担っている。

代表の三和清明さんは「『地域通貨』をツールとして活用することで、地域経済が活性化するだけでなく、地域福祉やまちづくり活動へ関心が高まり、ひいては、地域コミュニティの活性化につながります。住民が自然にふれあい、助け合い、共に支え合う。そんなぬくもりのある“まち(地域)”の実現を願って、これからも活動を続けていきます」と話しています。

(注) お互いに助けられ支え合うサービスや行為を、時間や点数、地域やグループ独自の紙券などに置き換え、これを「通貨」としてサービスやモノと交換して循環させるシステム。法定通貨ではその価値を表現しにくいボランティア活動や地域活動を地域通貨により、わかりやすく具現化することで地域が持っている潜在的な能力や活力を引き出し、地域で活かすことのできる仕組み。



そうぞう

12

2004.12*No.11

編集 後記



●…本誌も前回(9月発行)で、10号を発行することができました。本格的な人権情報誌ということで、この間、多くの府民、関係者の皆さんから激励や期待の声寄せられました。感謝しながら、さらに誌面の充実に努めていきます。

●…今回の企画特集。府立伯太高等学校と豊中市立第十六中学校を取材させていただきました。生徒たちの学習面だけでなく、生活面や進路の問題など、その「生き方」や「自己決定」について、親身になってかかわっている先生方の熱い想いにふれ、教職の重さを改めて認識しました。

指

寝屋川市 小学六年生(当時)
どい かおり
土井 花織

私は小指が曲がっている。
組立て体操や
重い物を持つこともできない。
だから、私の小指がいやだった。
消えたらいいとまで思った。
私はみんなに迷惑ばかりかけていて
ちょっとつらいこともある。
淋しいときも、いろいろある。
自分の小指のことで気を使ってもらうのはいやだった。
かわいそうだという目でも
見られなくなかった。
でも、いろいろな「障害」をもった人と出会って
今の私は
小指が好きになりそうだ。

2003年度人権啓発詩・読書感想文募集事業(大阪府・大阪府教育委員会など)の入選作品より

2004(平成16)年12月発行

発行/大阪府企画調整部人権室

〒540-8570 大阪市中央区大手前2丁目 TEL06-6941-0351 FAX.06-6944-6616 <http://www.pref.osaka.jp/jinken/>

編集/財団法人大阪府人権協会

〒556-0028 大阪市浪速区久保吉1-6-12 TEL06-6568-2983 FAX.06-6568-2985 <http://www.jinken-osaka.jp>

この情報誌は20,000部作成し、1部あたりの単価は48円です。

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています